



実験中のデュアルモード・バス・システム

県だより No.100 (Vol.30 #4)

- ・県内各試験場だより
- ・無人バス実験 ほか

昭和52年度(1978年2月頃)

制作:茨城県 [10:08]

■試験場だより:道路陥没事故の究明実験[水府村]

- ・台風による県道陥没事故の原因究明のため、昭和53年2月末、水府村で実験が行われた。
- 1978/2/-- 水府村(現・常陸太田市)

■試験場だより:松くい虫に強い品種の改良[那珂町]

- ・県林業試験場で行われた、松の品種改良の様子。
- 197/--/-- 那珂町(現・那珂市)

■試験場だより:廃泥を利用して瓦の生産[笠間市]

- ・県窯業指導所による砂利の生成過程で発生する粘土質の泥を再利用した瓦の生産の様子。
- 197/--/-- 笠間市

■トピックス:文化財を守ろう[大和村]

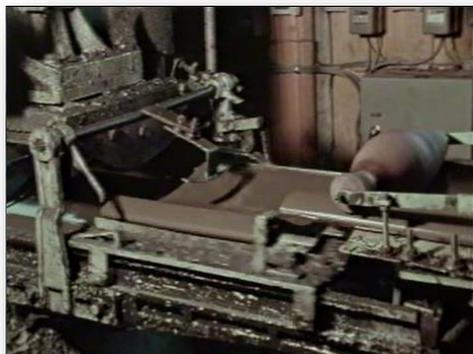
- ・昭和53年1月26日、雨引観音楽法寺にて、多宝塔から出火したとの想定で消火訓練が行われた。
- 1978/1/26 大和村(現・桜川市)

■トピックス:無人バスの実用化を目ざして[桜村]

- ・建設省(現・国土交通省)が筑波研究学園都市の土木研究所で研究していた「デュアルモード・バス・システム」の実験風景。一般道路では有人、ガイドレール設置箇所では無人で運行される。
- 1978/--/-- 桜村(現・つくば市)

■資源を大切に2月は省エネルギー月間

- ・昭和53年2月21日、水戸市で「茨城県資源を大切にする県民運動推進大会」が開催され、参加者は大会後、市街パレードを行った。資源ゴミの仕分けの様子。
- 1978/2/21 水戸市



廃泥を利用した瓦の生産



楽法寺での消火訓練